

特集 安全に工場を運営していくために 海外グループ会社 環境・安全衛生活動



ADEKA KOREA CORP.

所在地:営業拠点 ソウル
生産拠点 全北完州郡
創立:1991年11月
資本金:150億ウォン
事業内容:化学品の製造・販売、食品の販売
従業員数:190名

●ソウル事務所

●本社工場



「安全が一番」—韓国での世論が高まる

韓国では近年、企業による事故や災害が多発しており、当社のお客様の工場などでも重大な事故が発生しています。国内でも「安全が一番」という世論が高まっており、政府は環境安全に関連する法令の強化を実施しました。

ADEKA KOREA CORP.では、安全管理の重要性を再認識することで安定的な事業活動を継続していくため、さらには従業員とその家族の幸福を願い、EHS活動^{*1}を強化することとしました。

*1 EHS活動: EHSとは、Environment (環境)、Health (保健)、Safety (安全)の頭文字で環境・安全衛生分野における活動。

安全を追求していく文化を社内で醸成

EHS活動をはじめまでは当社で発生したヒヤリ・ハット^{*2}事例のなかでも、不注意によるものが約3割を占めており、潜在化している危険因子がいつ事故につながってもおかしくない状況でした。そこでまず、安全の追求を全社員が意識的に行うことができる企業

文化の醸成を目指しました。社員はもともと安全について高い意識を持っていましたが、さらに一人ひとりの「気づき」が芽生え、一瞬の不注意による事故リスクをなくす改善に取り組めるようになりました。

*2 ヒヤリ・ハット: 重大な事故・災害に至らないまでも、事故に直結した可能性のある事例。

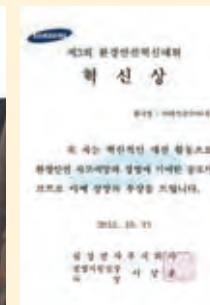
ステークホルダーの皆様から評価をいただきました



韓国環境部長官賞を受賞(2015年6月)



サムスン電子環境安全革新大会 革新賞を受賞(2015年10月)



主なEHS基本活動の例

安全文化改善活動

安全を追求するという企業文化を育み、社員の安全意識向上を図る



就業前や会議前に安全スローガンを斉唱

不安全要素改善活動

設備・装置などで不安全な箇所を改善し事故の可能性をなくす



危険物倉庫前に静電気除去シートを設置し、引火事故リスクをなくす

視認性改善活動

工場のいたるところに安全標識を掲示し、全社員で安全意識を共有する



停電発生時、誰でもすぐに復旧できるように受電パネルに配線経路と手順を表示



EHS幹部会議を毎週実施し、各部署による改善を社内共有



階段に滑り止めを貼付して転倒を防止、さらに中間柵を設置し二次災害を防ぐ



フォークリフトに反射テープを貼付、速度を制限して夜間作業の視認性を向上

この活動を通じて、社員の環境・健康・労働安全に対する意識が飛躍的に向上し、当社に訪問されるお客様からもお褒めの言葉をいただくようになりました。しかし、「安全がこれで充分」というラインはありません。

製品の供給責任をしっかりと果たし、お客様のみならず、ステークホルダーの皆様が豊かで幸せに暮らすことができる社会をつくる一助となれるよう、これからも安全を追求し続けます。